

# ようこそ！ 関西学院大学へ～祝辞～



関西学院 院長  
舟木 譲

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。関西学院大学を構成し、その歴史を新たに創造する一人となってくださったことに心より感謝いたします。今、皆さんの心の中にある夢や目標は何でしょうか。

大学は、主体的に様々なことに関わって行くことで自分でも気づかない可能性を自らの内に発見し、世界に大きな影響を与えるような豊かで喜びに満ちた歩みが出来るところです。実際、関西学院の歴史の中で、「最初の一人」となって、後の社会に大きな影響を及ぼした方々がたくさんおられます。例えば「日本ライトハウス」を創立された岩橋武夫氏や「点字図書館」を創設された本間一夫氏は、自らも視力を失った中で、同じ立場の人々が負わされている重荷を少しでも軽くするための取り組みを始められました。

私たちの社会は決して完全ではなく、多くの課題を抱えています。本学での学びと出会いの中で、自らが取り組むべき課題を発見し、その課題解決のために行動を起こす「最初の一人」となっていたきたいと思います。皆さんの前に広がる無限の可能性に満ちた大学という時を、喜びと希望をもって歩めるよう、心より願い、祈っております。



関西学院大学 学長  
村田 治

新入生の皆さん、関西学院大学へのご入学おめでとうございます。教職員、在学生を代表して心から歓迎いたします。現在、ICT技術の発達などによって世界が小さくなりグローバル化が急速に進んでいます。新入生の皆さんが社会に出て働く頃には、ほとんどの人が仕事の上で海外とのやり取りを行うようになるでしょう。そのためにも、英語の運用能力を高めることは勿論のこと、大学時代に一度は海外に出て行ってほしいと思います。アメリカやヨーロッパの大学も、学生の留学を積極的に促進しています。その理由は、異なった文化や価値観に触れることにあります。言いかえれば、多様性への理解が求められています。

関西学院大学は、2014年度に文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援（SGU）事業に採択されました。その構想名は「国際性豊かな学術交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」というものです。その基本にあるのが、入学した学部での学びの他に、①海外留学等の国際的なプログラム、②他分野を学ぶ副専攻プログラム、③実践的な学びであるハンズオン・ラーニング・プログラムのいずれかに挑戦するダブルチャレンジ制度です。二つのことに同時に挑戦することによって、主体性が身につく多様性への理解も深まり、何よりも、未知へのチャレンジ精神が培われると考えます。

第4代院長C. J. Lベーツ先生は、関西学院の建学の精神を「Mastery for Service」（奉仕のための練達）というスクール・モットーとして表現しました。自分の利益のためにだけではなく、世界人類のために自分を鍛えよと訴えられたのです。皆さんには、関西学院大学での学びにおいて、スクール・モットー「Mastery for Service」の意味を考えてほしいと思います。

どうか、自分自身にチャレンジし自己を鍛え、世界に羽ばたいて世界人類の幸福に貢献するという「高い志」を持ってほしいと心から願います。



関西学院大学 大学図書館長  
田和 正孝

ご入学おめでとうございます。皆さんは、これまでの学校教育の場とは比べものにならない広いキャンパスの中で、すぐさま「居場所」を探し始めることなのでしょう。まずは、キャンパス中をくまなく歩いてみることをお勧めします。そのキャンパスツアーを通じて、大学図書館がどこにあるか確認してください。大きな建物であり、重要な位置にあることがすぐにおわかりになると思います。なぜでしょうか。それは皆さんの学びの中心をなす「知の宝庫」に他ならないからです。大学図書館は、約200万冊の書物と多くの電子情報、映像資料を提供できる場所として、皆さんを待ち受けています。ひとつの専門分野に特化するだけでなく、幅広い分野に目配せし収書してきた本館の歴史を必ず汲み取れると自負しています。学びは本当に楽しいものです。豊かな時を過ごすことができる大学図書館は、皆さんの大切な居場所のひとつになるはずですよ。どうかよきキャンパスライフを過ごされますよう。



関西学院大学 学生連盟 本部長  
堀内 峻平

「長距離選手に対する、一番の褒め言葉がなにかわかるか？」これは、箱根駅伝出場を目指す大学陸上部を描く小説「風が強く吹いている（三浦しをん氏原作）」の中で、主人公が先輩から問われた言葉です。主人公は、速い……ですか？と答えますが、その答えに対する先輩の回答は「強い」でした。

ところで、皆さんは「自分の芯は何か？」を考えたことがありますか？大学に入学して、部活・サークルに打ち込みたい、バイトに明け暮れたい、資格を取りたい、良い会社に入りたい……など多種多様な考えを持っている事だと思われま。しかし「今やりたいと思っていること」に対して、目標を持っていますか？サークルに入った後は何をしますか？資格を取って就職して、その後は何をしますか？良い会社に入ったなら、その後は何をしますか？この問題に対して、すでにその答えがある人はもう一度「その先には何があるだろう？」と問うてみてください。常に「その先には何がある？」を意識することで、自分の考えが明確になっていきます。自分の考え・決めたことを信じて、周りに流されずに突き進める「強い」人になってください。改めて新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。



2019年4月1日 第843号



発行  
関西学院大学新聞 総部  
☎662-0891  
西宮市上ヶ原1番町1-155  
関西学院大学新学生会館3F  
電話：(0798) 51-1181  
E-mail: info@kgpress.jp  
HP: http://www.kgpress.jp  
Twitter: @kg\_shinbun

- 1面 祝辞
- 2面 KGニュース  
応援団女性団長  
アメフト日大戦  
A1活用人材

- 3面 日進月歩  
【連載】K.G. History
- 4,5面  
クラブ探訪記2018
- 6面 マスターピース  
教授の背中  
お店探し隊

- 7面 K.G. studio  
タイムスリップ  
K.G. PEOPLE
- 8面  
教育システム特集

パンフレット、記念誌、報告書  
制作・編集、デザイン

## 和泉出版印刷株式会社

【本社】  
〒540-0026 大阪市中央区本町1-1-6 本町カノヤビル  
TEL: 06-6946-1073(代) FAX: 06-6946-7684  
E-mail: info@izumi-syuppan.co.jp

【和泉営業所】  
〒594-0083 和泉市池上町4丁目2番21号  
TEL: 0725-45-2360(代) FAX: 0725-45-6398

### 定期購読 受付中

- 年間1,500円で6回お届け
- 郵送でお届け、手軽に読める
- 「かわら版」も一緒にお届け！

関西学院大学  
新聞総部



# 学校法人 兵庫県自動車学校

普通車・準中型

TEL:0798-67-2200

兵庫県自動車学校



関学生協サービスカウンターにてお申込み下さい。

「金縷（きんる）の衣は再び得べし。青春は再び得べからず」。古代中国の詩人である王粲（おうさん）の漢詩である。高価な服もお金さえあれば手に入るが、過ぎ去ったと取り戻すことはできないうという意味である。毎年この時期、入学式で大学1年生を見る時、時の流れの速さや自分が入学した時のことを思い出す。入学時の目標と現在の自分を見比べて、自分がどれほど成長しているのかを確認して次の1年を歩む。今年も、公職選挙法改正されて3年経つ。この法律の目玉であったのは18歳選挙権である。選

挙権年齢引き下げによって、一部の高校3年生・大学1年生が選挙に参加した。この3年、衆参両議員選挙を経て、18歳・19歳の投票率が減少している。具体的には2016年の参院選で18歳が51.28%、19歳が42.30%であった。また、2017年の衆院選では18歳が47.87%、19歳が33.25%であった。投票率減少の主な理由は、住民票移動が大きく影響していることだ。また、主権者教育の浸透不足という課題もある。特に大学での主権者教育の充実が投票率上昇の鍵であろう。今年も、4月に統一地方選と参院選が予定されている。大学1年生・2年生は大学の生活を楽しみつつ、国の将来にも目を向けてみ

# 初の女性団長

## ～応援団総部の躍進～



クラブ活動が盛んな本学を、陰で支えているのが応援団総部だ。その応援団総部に、新たな風が吹いた。

このことである。

指導部は、体育会系と見紛うほどのランニングや筋トレ、発声練習を日々積み重ねている。そこには性別を理由にした手加減は一切ない。大変ではないかと尋ねると「もちろん楽ではないが、覚悟はしていた」と落ち着いた声で、団長の岸本ゆずかさん(理・4)は返した。指導部長の柏原加奈さん(経・4)も「厳しい練習は自信につながっている」と答える。

関西学院大学の応援団総部は、指導部、吹奏楽部、チャリティー部の3部で構成されている。指導部とは、学ランを着て白い手袋をはめ、勇ましい声で演舞する、応援団と聞いて真っ先にイメージされる団体だ。その指導部の部長、そして3部をまとめる団長それぞれに、指導部の女性が就任した。団長に女性が就任するのは、73代目にして初めて

入部のきっかけは何だったのか。二人とも、ある女性の存在を口にした。その女性は、二人が新入生の時の指導部長であり、指導部初の女性部長でもあった。「入学式で見たその人の演舞に圧倒された」と口をそろえる。

そんな二人が掲げた、今年の指導部のスローガンは「妥協なき挑戦」だという。「今年一年を通して、現状に妥協することなく指導部員一人一人がより良い応援の在り方を考え、自分自身の限界に挑戦して欲しい。そこに、幹部や下級生という違いはない」と柏原さんは熱弁した。



柏原さん(左)と岸本さん(右)

柏原さんは最後に、柏原さんにとつての応援団とはなにかを語った。「応援団と言えば、根性論という言葉をよく耳にする。しかし、ただがむしゃらに声を出し続けることだけが応援団ではない。どうすれば盛り上がるのか、どう

すれば会場の心をつかむ応援ができるのかを考え、応援団としてどこまで会場を巻き込む応援ができるかが重要だ。また、応援は、応援団に入らなくてもできることだ。しかしだからこそ応援団は、応援という誰にでも出来ることを誰にも真似できないほど、真剣に全力で行う団体であるべきだと思ふ」と口にした。

伝統ある指導部は、これまで多くの学生の支えになってきた。その応援団を、これからは情熱あふれる二人がけん引する。その挑戦はまだ始まったばかりだが、二人の闘志は、大きな成功を予感させるものであった。

# AI活用人材育成プロジェクト

## ～文理の壁を越えて～

AIは、あらゆるビジネスに組み込まれつつある。そのような背景を受け、今年度から本学では「AI活用人材育成プログラム」が開講される。AIという、理系の学生が対象かと思われがちだが、そうではない。このプログラムを統括する巴波教授は「このプログラムは文理横断型、すなわち文系の学生も対象だ。むしろ、文系の学生こそ受講してほしいと考えている」と語る。

本プログラムは、大手IT企業である日本アイ・ビー・エム株式会社(以下、日本IBM)との共同プロジェクトだ。集中開講を含む10科目(20単位)の授業から成り立つ(II図1)。本年度の新入生も受講可能で、2020年

度卒業予定の学生も、一部の集中開講を除き受講できる。本プログラムの目的は、AIの専門家を育成することではない。「AI、データサイエンス関連の知識を持ち、さらにそれを活用して、現実の諸問題を解決できる能力を有する人材」と定義される「AI活用人材」を育成することだ。よって本プログラムでは、AIそのものに関する知識、技術を理解するための時間は比較的短い。それよりも、グループでプレゼンを行うなど、AIをどのように活かす、課題を解決するかという点に重きを置いている。きわめて実践的なプログラムだ。

教育環境が非常に充実しており、日本IBMが保有する施設「IBM Osaka Client Experience Center」を活用した演習が予定されている。授業はAIに関するプロジェクト経験が豊富な実務家教員や本プログラム開発に携わった教員が担当する。

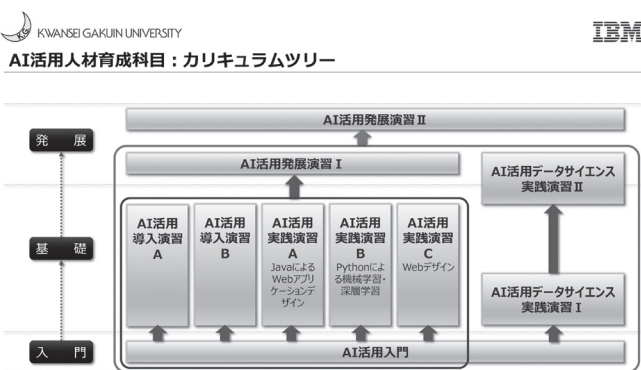


図1

AIという理系の専門科目だと思われがちなことについて、巴波教授は「確かにAIを全て最初から作るとなると、文系の学生には極めて難しいだろう。AIなどを専門とする学生にも容易ではない。しかし現代では、AIを作るための必要なものほとんど用意されている。問題は、現実の諸問題に対し、AIをどのように活かすかである」と説明する。例えば、最近では簡易的な自動通訳機が流通している。これはいわば音声認識と翻訳という2つのAIを

組み合わせたものだ。音声認識のAIや翻訳のAIを作ることは容易ではない。しかし、この二つをつなぎ合わせ、通訳機としての機能を持たせることはさほど難しくないとこのアイデアによって部分的にはいえ、異なる言語を使う者間ではコミュニケーションがとれないという問題が解決されたといえる。

この悪質タックル問題は、選手の意志ではなく、監督からの指示であったということ。大きく世間を騒がせた。また、コーチ、監督をはじめ、常務理事など多くの役職者が次々と辞任したことも話題に上った。

# 選手の安全を第一に

## ～アメフト定期戦見送り～



本学体育会アメリカンフットボール部FIGHTERSの小野宏ダイレクターが先月11日に、日本大アメリカンフットボール部日本大学フェニックスとの定期戦を、2019年度も再開しないことを明らかにした。この定期戦は現在、悪質タックル問題で中止になっている。

チームは再建に向かっているが、現段階ではまだ日本大は公式戦には参加しておらず、安全なプレーができるという保証はない。小野ダイレクターは「秋のリーグ戦の映像などを見て、試合が安全にできるという確証を持つことが出来てから、日本大と定期戦を再開する」との意思を示している。

この悪質タックル問題は、選手の意志ではなく、監督からの指示であったということ。大きく世間を騒がせた。また、コーチ、監督をはじめ、常務理事など多くの役職者が次々と辞任したことも話題に上った。

何よりも大切なのは、本学の選手の安全確保。一度大きなけがをしてしまえば、二度とプレーができなくなってしまうかもしれない。スポーツにけがはつきものだが、選手生命を絶つてしまうこともある。本学の選手を守るために、チームが再建され、信頼性が回復した後のことになるのが理想である。プレーに集中できる安全な試合というのは、お互いの信頼のうえに成り立っている。

学院の規模が拡大していくにつれて、本学の教育施設は手狭になっていった。本学の建築物の特徴である、スパニッシュ・ミッション・スタイルを継承しながら、創立百周年を目指してキャンパス整備が行われた。(T・M)

戦後になり、上ヶ原キャンパスに建築された校舎は、急激な学院の規模拡大、学生数の増加に呼応して建てられたものであった。ヴォーリスにより設計された校舎群とは、ある程度のデザイン的な調和が図られたとは言え、間に合わせの校舎という印象は拭えないものであった。

# K.G.HISTORY

単純な直線ないし曲線が基本となったものが建設された。学院施設課と竹中工務店によって設計・施工された、これらの建築群は上ヶ原キャンパスに新鮮なイメージを加えるものになったと評価されている。現在でも、第五別館や旧学生会館に、その特徴を見ることが出来る。日本におけるモダン・建築の隆盛と時を同じくして、本学キャンパスにも近代

## 校舎建築のトレンドを追う

的デザインの校舎が建設された訳だが、スパニッシュ・ミッション・スタイルとの調和という点では配慮が充分であったとは言いがたい。当時の校舎建築計画において、キャンパス全体の機能性や景観は二の次で、財政的側面に重点が置かれていたことが設計思想からも読み取れる。

ある。また、図書館前の通称「銀座通り」付近などに散在していた部室や、売店などを統合し、新たな学生会館に集約することなども提案された。これらの提案は、長期的プロジェクトとして実施されることとなった。

1978年6月、銀座通りに面していた第二学生会館が、出火により焼失した。部室を失ったクラブも多くあり、前述の学生関係施設構想の具体化が急がれることとなる。

解決を急がれる形で、現在の新学生会館の建設が行われることとなった。この頃になると、日本設計が校舎の設計に参画し、新しい感覚のスパニッシュ・ミッション・スタイルが積極的に取り入れられる。

「若さのルツボ」をテーマに設計された新学生会館は、①学生による自主的な課外活動、②学生、教職員、福利厚生、③大学構成員相互の人間的交流——の為の施設として建設された。そのため、様々な性質の、多くの部屋を一つの建物に納める必要があった。その上、それぞれの部屋には外光と通風が必要とされる。

ひとかたまりの建物にするのではなく、口の字型の建物にし、外周壁を長くすることによって、この問題を解決した。また、上ヶ原は高度制限地区に指定されており、15メートルまでの建物にする必要があった。地上15メートルで建物の高さを固定し、納まらない分に関しては、地下に掘り下げていった。また、中庭も掘り下げることで、地下にも外光と通風を確保することができた。口の字の建物の北側と東側は会館棟として、ラウンジや共用室、生協や業者食堂のためのスペースが置かれた。西側は武道の道場を、南側の部室棟には各総部室を始めとして、公認団体の部室が置かれた。そして、大空間を要する温水プールは中庭の地下に配置し、多くの機能を限られたスペースに収納した。また、特徴的な中庭建築はスパニッシュ・ミッション・スタイルと融合し、建物の合理性と伝統が融合し、美しさを際立たせている。



建設中の新学生会館＝関西学院学院史編集室提供

捨てたつてごみは消えない。その行為によって、ごみを視界から排除しているだけだ。

近年、世界的に問題となっている海洋汚染。その原因の一つとして注目されているのがマイクロプラスチックだ。ペットボトルやレジ袋、発泡スチロールやカップに至るまで、我々の日常のあらゆる場面にプラスチックは存在している。これらは自然界で非常に分解されにくく、紫外線や海流、波などの影響で劣化し、細かい破片となる。洗顔料や化粧品にスクラブとして使用されている「マイクロビーズ」もこれに含まれる。

問題は、通常のプラスチックより細かくなったことにある。有害物質が付着しやすく

なり、鳥や魚などがエサと間違えて食べてしまうのだ。生態系への深刻な影響、その魚を食べた人間の健康被害も懸念されている。

止にする方針だ。また、ガストやバーミヤンで知られる日本の外食大手「すかいらーくホールディングス」も2020年を目標に、プラスチック製ストローの廃止を決定している。

また、欧州議会は去年10月、2021年から使い捨てプラスチック製品の流通を禁止する法案を可決した。ストロー、減などを盛り込んだ「プラスチック資源循環戦略」を策定中だ。

このように、国や地域、企業などがさまざまな取り組みで使い捨てプラスチック製品の削減を目指している。海洋汚染を悪化させず、生物の生態系や人間の健康を守るためだ。もちろん、我々学生にもできることはある。

本学キャンパスの生協やコンビニでは、パンや弁当、お菓子や飲料といったものを多く扱っている。それらは毎日学生によって大量に消費される。同時に大量のプラスチックごみとして排出されている。商品の容器やラベル、スプーンやストローなどには当然プラスチック製品である。

海洋汚染の原因の一つであるプラスチック製品は我々の生活に浸透している。だからこそ、悪化させないために個人で講じられる手段は多いはずだ。捨てて終わりではない。その先を、一人一人の行動で変えていきたい。

## 日進月歩 プラスチック問題 行動のその先を考えて

企業だけではない。日本では、2019年6月に開催される主要20カ国・地域首脳会議に向けて、プラスチックごみの大幅な削減対策を進めている。レジ袋の有料義務化や、2030年までに使い捨てプラスチックの排出量の25%削減

リサイクルという手段もある。本学生協では2005年から「関学生協オリジナル弁当」においてデポジット制をとっている。弁当購入代金にあらかじめ10円が上乗せされており、食べた後容器を店舗に返却することでその10円が返金されるというシステムだ。

海洋汚染の原因の一つであるプラスチック製品は我々の生活に浸透している。だからこそ、悪化させないために個人で講じられる手段は多いはずだ。捨てて終わりではない。その先を、一人一人の行動で変えていきたい。

巨額の予算を投じて建設された新学生会館は、一部に予算を使いすぎとの声があったものの、概ね好意的に受け入れられたことが当時の本紙や卒業アルバムから読み取れる。竣工から35年が経ち、多くの学生が大学生活の1ページに刻む場所として、今でも多くの学生に利用されにぎわっている。

も奇与した。本学・西宮上ヶ原キャンパスが現在の姿に近づくに至る20年余りの軌跡をこれまでに述べた。すでに一部の建物は老朽化が目立っていることも否めないが、今なお積極的に活用されていることが、キャンパスの整備計画が長期的に良く練られた何よりの証左だろう。さらには、設計思想の原点回帰が功を奏しているか、西宮上ヶ原キャンパスは2017年に日本建築学会賞を受賞している。機能性はもちろん、景観にまで配慮された文化的価値の高い建築群で構成されるキャンパスは多くの人に愛されている。一方で、校舎の大規模化・近代化に際して、歴史的価値の高い旧校舎や建物を取り壊されている。価値の高い資産を残しつつ、キャンパスの発展的な整備を行う必要性が高まってきている。

# 春の恒例企画

# クラブ探訪記2019

本学の学生、特に体育会系の部活動に所属する学生にとって、欠かせない存在が応援団総部だ。応援団総部は、指導部、吹奏楽部、チアリーダー部から成り立つ。今回は、三部を取りまとめる部長である岸本ゆずかさん(理・4)と、指導部の部長である柏木加奈さん(経・4)に、指導部を中心にインタビューした。なお、二人に関しては二面でも取り上げているので、ぜひ一緒に読んでもらいたい。

指導部は、学ランに白い手袋をはめ、スポーツの試合などで応援をする、まさにイメージ通りの「応援団」、い

## 応援団総部

わば応援団の顔である。柏原さんは「一回生の時に、入学式で見た指導部のパフォーマンスに感動し、入部を決めた」という。岸本さんも「特に当時の指導部長の演舞は圧巻だった。いまでも尊敬している、目標の人だ」と語る。

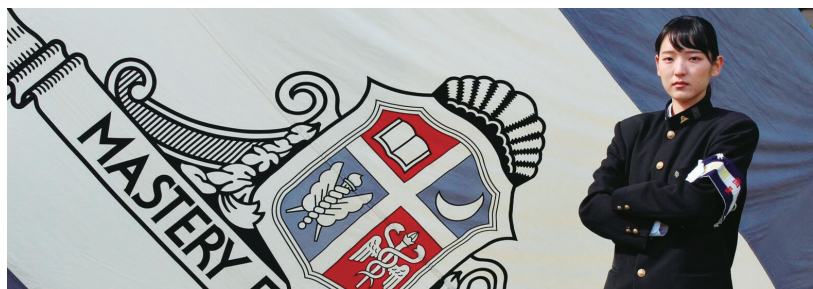
本学の学生の多くが知っているだろうが、指導部の練習は非常に厳しい。体育会系と見紛うほどのトレーニング、聞くものの身を震わせるような発声練習を日々積み重ねている。「当然楽ではないが、厳しい練習を乗り越えたという事実は自信につながる」と柏原さんは語る。

現在、指導部にはある特筆すべき特徴がある。それは、部員12名のうち6名が女性だということだ。この女性率の高さは非常に珍しい。その理由を岸本さんは「人前でのパフォーマンスに抵抗がないのは、意外にも女性の方が多いと感じる」と説明する。柏原さんも「そういった人たちが、実際に私たちを見て入部してくれているのではないかと」語る。

そんな岸本さん率いる応援団総部が掲げる今年のスローガンは「躍進」だという。「応援団総部の伝統は私たちの誇りだ。しかし伝統

後、新学生会館3階の部室に行っており、主に新聞発行に向けた会議をしている。会議の曜日が固定されているため、趣味やアルバイトとの両立もしやすい。先輩・後輩関係なく意見を話し合えるアットホームな雰囲気は新聞総部の特徴である。

会議では各々がニュースの題材を持ち寄り、その中から取材先を決定する。そして、取材を行い、記事を執筆し、紙面のレイアウト作成や記事の校正まですべて自分達で行う。これらの中で、取材相手に対するマナーや言葉遣い、時間や記事の締め切りを守るなど、記者としての知識だけでなく人として大切なことも自然と身に付く。新聞総部で学べることは多い。



桜が舞い、新しい出会い、新しいチャレンジの季節となった。大学生には、挑戦する価値あるものがたくさんある。学問に専念するもよし、アルバイトで社会経験を積むもよし、留学で視野や語学力を磨くもよし、ボランティア活動にそしむもよし。そして、クラブ活動に全力で取り組むこともまた、大きな価値がある。仲間と連携して何かを成し遂げること、そのために時にぶつかり、競い合うこと。これらは、クラブ活動ならではの経験だ。しかしクラブ活動に参加はしてみたいが、どんな部活動があるのか分からない、新しい活動に挑戦してみたいが、何をしたいのかまだはっきり決まっていな。そんな新入生に諸君に、この毎年の恒例企画「クラブ探訪記」をささげる。

## 新聞総部



大学に入り、自分の視野を広げたい。友達も増やしたい。そんな人に是非足を運んでもらいたいのが新聞総部だ。

新聞総部は、1年に6回、主に学内に向けて『関西学院大学新聞』を約3000、8000部発行している。新聞には、学内のニュースはもちろんのこと、本学で教壇に立つ教授や卒業生などの紹介や、部員オススメのお店・本の紹介、新月祭特集、や、関学チャペルアワー特集、インスタ映え特集のような特別な情報を掲載している。

活動は毎週金曜日の放課

様々な人に出会い、価値観や思いについて学ぶことができるのも新聞総部の魅力である。部員全員で新聞という一つのものを作り上げる喜びと、自分の書いた記事を多くの人に読んでもらえる感動を味わってみたい人は、ぜひ一度新聞総部の部室を覗いてみてはいかがだろうか。



基本情報		年間スケジュール	
活動場所:	旧学生会館屋上・新学生会館屋内体操場	4月	入学式
活動日時:	平日昼休み	5月	春季硬式野球応援「関関戦」
部員数:	12名	6月	入団式
連絡先:	岸本 ゆずか (理・4) yuzuka.kishimoto1012@gmail.com 08015101639	7月	イベント「そんなあなたを応援します」
		8月	総合関関戦
		9月	オープンキャンパス(神戸三田キャンパス)
		10月	オープンキャンパス(上ヶ原キャンパス)
		11月	夏合宿
		12月	関西四私立大学応援団連盟祭
		1月	秋季硬式野球応援「関関戦」
			応援団総部祭~新月旗の下に~(大学祭期間中)
			甲子園ポウル応援
			ライスボウル応援
			幹部交代式

基本情報		年間スケジュール	
活動場所:	(上ヶ原)学生会館新館3階	5月	新聞発行
活動日時:	毎週金曜日19:00~21:00	7月	新聞発行、総会
部員数:	7人	9月	合宿
連絡先:	有富 晴貴(文・3) kgpress2009@yahoo.co.jp	10月	新聞発行
		11月	大学祭取材
		12月	新聞発行、総会
		2月	新聞発行
		3月	新聞発行

兵庫県公安委員会指定 技能試験免除 (全国共通)

利昌エンタープライズ K.K.

## 武庫川自動車学園

利昌工業グループ

TEL 06-6431-5267 MAIL info@mukogawa-ds.co.jp  
http://www.mukogawa-ds.co.jp

新入学おめでとうございます

灯りのあるより良い暮らしを

神戸市営住宅・兵庫県営住宅ほか

お住いの方々に

電気設備保全工事

畑中電気合同会社

〒653-0834  
兵庫県神戸市長田区川西通5丁目107番地の8

# 体育会編集部

西宮上ヶ原キャンパスC号館の近くにあるスポーツ新聞が掲載された大きな掲示板を目にしたことはあるだろう。新入生はぜひ探して見てほしい。そのスポーツ新聞、通称「関学スポーツ」を発行しているのが、本学体育会の唯一の広報機関の体育会編集部だ。

関学スポーツは、体育会42部の広報を目的に活動している。主に年5回の新聞発行や、各部の公式戦での撮影、試合後の取材、試合の号外作成などを行う。また試合前

には、選手の普段の学校生活を取り上げることもある。それらの活動は各々で行い、部活のミーティングで全体の意識統一を図っているという。このような幅広い活動内容は関学スポーツの大きな魅力だ。

作成した新聞は、主にツイッターで流す。他大学や新聞総部と違う関学スポーツならではの発信方法だ。最近、外部メディアと連携し、外部に記事を渡すこともあるという。部員の活躍の場は年々広くなってきているようだ。

編集部では新入生歓迎イベントとして、アメリカカンファレンスの試合「KGボウル」を先輩と観戦し、選手に取材を行う。観戦しながら、編集部の体験をできるいい機会だ。その他には、新入生が興味のある部活動に向き、先輩と一緒に体験取材をする。本学のレベルの高い体育会の選手たちを自ら取材できるチャンスである。

部員はスポーツ好きな人が多く、部活動の雰囲気は和気あいあいとしている。休みの日には、遊びに行くこともあ



編集部のメンバーたち。前列は部長の森翔太さん（神・3）。

に入っていないと経験できなかったと、そのときの感動が蘇ったかのように話した。馬場さんは「毎日取材に行き選手との関係性ができていたからこそ、自分にしかできない取材ができる」と語った。

最後に「スポーツが好きなら、メディアに興味がある人、写真撮るのが好きな人、大学から新しいことを始めたい人など大歓迎。一緒に体育会を盛り上げたい」と馬場さんは話した。

# 宗教総部

宗教総部は「キリスト教精神の向上を図るMastery for Serviceを体現する」という活動概念のもと、千刈リーダーズクラブと献血実行委員会という、2つのパートに分かれている。千刈リーダーズクラブは、千刈キャンプでキャンプリーダーとして活動

している。献血実行委員会は、その名の通り、献血の推進活動をおこなっている。活動は同じ宗教総部であるが、大きく異なっている。千刈リーダーズクラブは、主に本学千刈キャンプで、利用客の手伝いや、場内整備をしている。また、子どもや家族向けのキャンプの企画や主催も行う。このように千刈リーダーズクラブでは、豊かな自然の中で、普段はできない貴重な体験をすることができ



千刈キャンプの様子。多くの学生が献血バスに足を止め、献血に協力する姿が見られる。

また、森さんは新入生に向けて「何か新しいことに挑戦したい、人の役に立つことをしたいと考えている新入生の入部を歓迎しています。私たちと一緒に楽しく、有意義な学生生活にしましょう」と語った。

学生生活を楽しみながら真剣に何かに取り組むみたいと思っている新入生にとって



献血実行委員会は、本学のキャンパスに献血バスを呼び、学内で献血協力の呼びかけなどを行っている。西宮上ヶ原キャンパスでは年に4回、神戸三田キャンパスでは夏と冬の年に2回、このような活

動が行われている。この期間には、多くの学生が献血バスの前で足を止め、献血に協力する姿が見られる。また、ピラやポスター、看板などのデザインや、作成もおこなっている。2017年には、本学での献血者数が累計9万人を突破した。また、来月17日には本学での献血実施が1000回を迎える。

総部長の森翔太さん（神・3）は、「パートに関係なくとも仲の良い部活。活動時には楽しくかつ真剣に、遊ぶ



**基本情報**  
 活動場所： 関西学院千刈キャンプ(千) 中央芝生横白いテント(献)  
 活動日時： 毎週月・木・土日(千) 毎週月・木(献)  
 部員数： 49人  
 連絡先： 森 翔太(神・3) 090-6754-2244 dem99838@kwansei.ac.jp

**年間スケジュール**  
 4月 春の献血週間(献)  
 5月 新緑キャンプ(千)  
 6月 夏の献血週間(献)  
 8月 サマーキャンプ(千) わくわくキャンプ(千) 献血合宿(献)  
 9月 夏合宿(宗)  
 10月 秋の献血週間(献) 千刈フェスティバル(千) オータムフェスティバル(千)  
 11月 ふゆっこきやんぷ(千)  
 12月 冬の献血週間(献)  
 3月 ワークキャンプ(千)

**基本情報**  
 活動場所： 新学生会館2階  
 活動日時： 毎日  
 部員数： 14人  
 連絡先： 松木 葉菜(社・2) fhg16486@kwansei.ac.jp

**年間スケジュール**  
 4月 KGボウル、新歓イベント  
 5月 編集期間  
 8月 新入生歓迎合宿  
 9月 編集期間  
 10月 OB・OG会  
 11月 編集期間  
 12月 朝日新聞コンテスト  
 1月 報知スポーツ新聞コンテスト  
 2月 編集期間  
 3月 編集期間

**推薦**  
**「ストーリーとしての競争戦略」** 著者 楠木 建氏  
 一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授  
 ベストセラー 「ストーリーとしての競争戦略」他著書多数  
 過去20年間、日本のGDPの伸びはOECD先進国の中で最低だ。日本経済が停滞した最大の理由は企業が稼ぐ力を失ったことで、これは経営者と企業戦略の問題だ。多くの日本企業にとってクオリティ企業への道を選択することがその解決策になることを本書は示している。

**就活のバイブル 誕生**  
**就活チェックポイント**  
 ✓ **決算は企業の成績表**  
 ・企業の決算資料で過去10年間の売上、利益、株価を自分の目で**チェック**。  
 ・10年間成長していない企業は要注意。企業の業績は経営者のセンスと能力によって決まる。経営者には2つのタイプがあることを**本書で確認**。  
 ✓ **企業の命運を左右する競争戦略**  
 ・会社説明会や社長インタビュー記事等で企業の競争戦略を**チェック**。  
 ・競争戦略に共感が持てず感動を覚えない企業の存続は危うい。競争戦略の本質と事例を**本書で確認**。  
 ✓ **企業風土は家族にとっても死活問題**  
 ・インターン体験、企業不祥事のネット検索、OB先輩社員からの情報をもとに企業風土を**チェック**。  
 ・社員を顧みない企業風土は社員とその家族を不幸に陥れる。悪しき企業風土の実例と窮地に陥った社員に残された道を**本書で確認**。

**大企業丸洗い**  
 日本の大企業丸洗い  
 ~サムライ経営者が日本を救う~  
 リョーマ・ゴースト 著  
 「初登場以来、日本政治の汚れをじゃぶじゃぶ洗い流そうと『ニッポン丸洗い』をスローガンとして掲げてきたが、日本再興のために大企業の洗滌が重要だと強くリョーマ・ゴーストの主張には共感を覚える」 前田淳 前副総裁  
 好評販売中 ビジネス出版社の歴史  
 amazon  
 試し読み  
 印刷本 1,599円(税込)



# 教授の背中

## 木本浩一

### ハンスオン・ラーニングセンター 教授

2017年4月、本学のSGU構想の柱でもある「ダブルチャレンジ制度」3プログラムの一つ「ハンスオン・ラーニング」を推進するため新設された「ハンスオン・ラーニングセンター」を知っているだろうか。「ハンスオン・ラーニング」は、直接手で触れて理解し、物事の原因ではなく、事実について突き詰めて考え、より深く追究していく学びのことである。そのため、このプログラムでは「キャンパスを出て、実社会を学ぶ」実践的・体験的な学習プログラムを開発・提供することをモットーとしている。

## 現場で経験する授業を

本本教授は、数年前にこのプログラムを発売し、本学に提案。2015年から準備を進め、2016年に先立つてハンスオン・ラーニングの授業を開始。そして2017年、センター新設により、一つのプログラムとして確立させた。

プログラムの一環として学生に提供されている授業はすべて、社会のあり方に焦点を当てて進められる。学生は、本本教授が主題として提示した社会問題に対して、はじめに直接現場へ出向く。その後、学生それぞれがその問題について考察し、行動を

きもと こういち
1989年 広島大学文学部史学科卒業
1997年 同大学院社会科学部研究科博士後期課程単位取得満期退学
1997年 広島大学大学院国際協力研究科助手
2001年 広島女学院大学文学部助教授のち教授
2012年 同大学国際教養学部国際教養学科長
2015年 摂南大学外国語学部教授
2016年 関西学院大学ハンスオン・ラーニングセンター教授



こだわりのパンが並び

起こす。また、本本教授はこれらの授業の中で、講義形式の授業をほとんど行わない。本本教授の授業では、あくまで主体は学生。そのため本本教授は、学生それぞれが導き出した見解に対して、個々に細かく指導を行なっている。自分ではなく、学生のための教育を行うことを、常に心がけている。

本本教授は、授業は学生にとって能動的である必要があると述べる。しかし、大学で一般的に行われている講義形式の授業は受動的なものに偏っている。受動的な授業は学生にとって必須であるが、知識だけでは補えないものもある。学生が自分自身で考え、実際に現場に出て経験することではじめて、実践する力が身につく。本本教授はこれらの過程で身につく力を「構想力」という言葉で表した。この構想力こそが、これから私たちが社会に出たときに必要とされるものであり、有無を問われるものだとという。構想力を養うためには、学生時代に一度でも本気で物事と向き合い、考える必要がある。本本教授は、自身の授業を通して学生がその経験をしてくれることが一番の喜びだと語った。

☆基本情報☆

- ・営業時間 8:30~19:30
- ・定休日 月曜日(祝日の場合は翌日定休日)
- ・アクセス 阪急宝塚線仁川駅から徒歩1分
- ・住所 宝塚市仁川北3-7-5
- ・TEL 0798-57-3688

訂正して、おわびします

第842号2面「教授の背中」で、浜野研三さんの経歴に「京都大学文学部 助教授」とあるのは、「京都大学文学部 助手」の誤りでした。参照した元の資料が間違っており、確認も不十分でした。



## 「平林さん、自然を観る」 平林 浩



まさに、左手にサイエンス、右手にロマンの達人。柳生博士。平林浩

私はこれまで「見る」と「観る」の違いを意識したことが無かった。著者の平林浩さんは、「観る」ことを「みずからの予想や仮説を持って対象に働きかけて見る」として、本書は平林さんの小エッセイ集である。それぞれのエッセイは秀逸で、添えられた著者によるたくさんの挿し絵も素晴らしい。だが私は本書全体を通して、著者と自然の関わり方、著者の自然観を知ることが出来た点に

素晴らしいと感じた。著者は、小学校教師を経て、現在では仮説実験授業を広める出前教師として活躍している。だからか、著者の「自然を観る」方法は、予想を立て、結果からフィードバックを得る、仮説実験的なものだ。さらに、長年の経験で著者は「環境」のイメージを統合しており、鋭い直観を持っており、また、持ち前の興味・関心・好奇心……それらが著者の「自然を観る」ことを支えている。

考えてみると、私の自然を見るやり方は「見る」どころか「眺める」に近かったかもしれない。目に映ったものを表面的に捉えることに終始している。本書を読み進めていくうちに、私も自然を「観る」ことをしてみたいと思わずにはいられなかった。

著者の「自然を観る」という行為にある、それぞれのプロセスは、自然に限らず、他の分野にも応用できるだろう。「眺めて見えることは、えてしてわたしたちをあざむく」。耳触りの良い言葉が並ぶ今の世の中で、表面的なものを見て物事を判断したならば間違ってしまうだろう。筆者のものの見方は今こそ求められている。私たちの人生を豊かにするヒントにしたい。可愛らしく、楽しい筆者のエピソードを読みながら、心を温めつつ、人生に対するヒントを受け取ることができた。この本を読み終わったと

き、満足感を得ることが出来るだろう。太郎次郎社エディタス刊、本体価格1700円。(T・M)

き、満足感を得ることが出来るだろう。太郎次郎社エディタス刊、本体価格1700円。(T・M)

## ひらばやし・ひろし

34年、長野県・諏訪地方生まれ。子ども時代から野山を遊び場とする。88年まで小学校教諭。退職後は「出前教師」として、地域の子ども・大人といっしょに科学を楽しむ教室を開いている。仮説実験授業研究会、障害者の教育権を実現する会会員。著書に『仮説実験授業と障害児統合教育』、『作って遊んで大発見！ 不思議おもちゃ工作』『キミにも作れる！ 伝承おもちゃ&おしゃべり手芸』『しのぶちゃん日記』など。

おすすめのお店探し隊！  
vol.21.  
「ジャンポール・ビゴ 仁川店」

第21回目となる今回は、フランスパンで有名なパン屋「ジャンポール・ビゴ 仁川店」を紹介する。「ビゴさん」の愛称で親しまれるこの店は、地域密着型のパン屋として様々な年齢層の方に親しまれている。ここ仁川店は、1階に売り場、2階にカフェという造りだ。1階には、店のこだわりが詰まったパンやケーキ、焼き菓子がきれいに陳列されている。生地作りは、伝統製法を用いており、パンの都合に人が合わせる、自然に任せたパン作りを行なっているという。パンの種類も豊富だ。人気は、外側のサクッとした食感と内側のもっちり感が絶妙の細長いフランスパン「バター」(税込み270円)だ。

肉料理やフォンデュなど、どんな家庭料理とも相性が抜群である。お店のおすすめは、デニッシュ生地にカスタードと洋なしをのせて焼き上げた「洋なしのタルト仕立て」(税込み270円)。カスタードと洋なしの組み合わせは癖になる。ほかにも、フランスパンに板チョコをそのまま挟んだ「グテ」(税込み195円)。フランスパンに明太子バターをたっぷり塗った「明太子フランス」(税込み260円)。店内厨房での作りたてを提供しているサンドイッチ(税込み270円)などがある。

この店の特徴は、パンのほかにケーキや焼き菓子も扱っているところだ。ビゴの店を設立したフィリップ・ビゴ氏は、パンだけでなくお菓子にもこだわりの持ち主だ。パンに負けない焼き菓子を作りたいという思いがあったそうだ。おすすめのケーキは「サバラン」(税込み346円)である。プリオッシュ生地にお酒をたっぷり含ませ、生クリームをのせた大人のお菓子だ。2階は、1階で扱っている商品のイトインはもちろん、カフェのみでの利用も可能になっている。8時30分から11時まではモーニングセットを、11時30分から14時30分まではランチメニューを提供している。



地域に愛される「ビゴさん」

K.G. PEOPLE

#33. 学生起業家

岡村 朋弥さん (総政・3)

今、時代を代表する実業家である、マイクロソフトのビル・ゲイツやソフトバンクの孫正義は、学生時代に起業をした学生起業家である。本学でも起業をして、次の時代を築こうと考える人は少なくないだろう。

今回取材した岡村朋弥さんは、その一人である。高校時代に出会った大学教授の影響で起業を志すようになったという。

その教授はカリフォルニア大学の教育学者でありながら、自身の教育理念を掲げた

地域の人々との関わりを大切に。  
10年後の堺市のために今できること。

第21回タイムスリップ



今回は、本学総合政策学部卒業後、(株)博報堂に入社。同社退職後、堺市議会議員に当選。現在まで、地域のために活躍している。西てつしさん(42)に話を伺った。

大手広告代理店として名をとどろかせている博報堂。憧れを抱いている在校生も数知れないだろう。西さんは社員

何者でもない大学生が

ゼロから起業

教育機関を実際に立ち上げ、活動をしてきた。岡村さんは、机上の研究で終わらずに、常に現場で実践を続けるという「知行合一の精神」という理念に憧れを抱き、自身も常に学びつつ実践者として活動をしていきたいと考えた。

岡村さんは大学入学後、経営学やマーケティングなどをより深く学んだ。それと同時に、ウェブマーケティング業界の第一人者の中で、B to C企業のコンサルティングやインフルエンサーのプロデュース活動などを始めた。

大阪府堺市議会議員  
西 てつしさん  
(’01年卒)

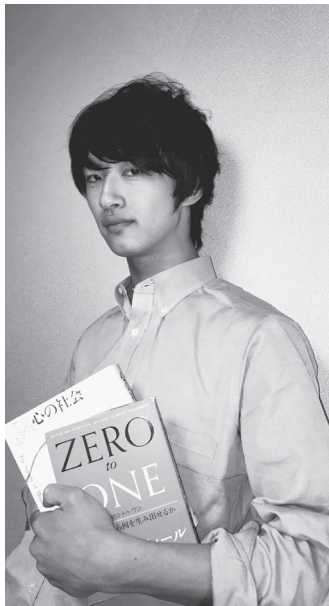
1977年大阪府堺市生まれ。関西学院大学総合政策学部卒業。03年に慶應義塾大学大学院政策メディア研究科修士課程修了後、(株)博報堂入社。06年に同社退職後、07年に堺市議会議員に初当選。12年から13年までは関西学院大学非常勤講師としても活躍。15年に堺市議会議員に2期目当選。また、ボランティアとしても様々な団体・NPOで積極的に活動している。環境NGO「ECO-LEAGUE」では、過去4度に渡って理事及び代表理事を務めた。

時代、同社に営業職として勤務していた。また、同社が温室効果ガスの抑制を目的として力を入れていた「チーム・マイナス6%」というプロジェクトのプランナーも兼務していた。入社時から精力的に仕事に取り組んでいた西さんだったが、06年に退職を決意。理由は、堺市議会議員になる夢を実現するためだった。

かけ離れているように見受けられる2つの職業について、西さんは「縁の下の力持ち、という面ではどちらもすごく近い。どちらの仕事も裏で何かを動かす仕事であり、自分たちが表に出ることはない。しかし、違い場所からでも人々の喜ぶ姿や笑顔を見れるときに、この上なくやりがいを感じる」と述べた。評価

第一人者から、最先端の広告技術やソーシャルネットワークを活用した実践的なブランディング方法を徹底的に学んだ。ブランディングとは、ブランドに対する共感や信頼を通じて顧客にとっての価値を高めるマーケティング戦略のひとつである。最前線のマーケティング知識を身に着けた岡村さんは現在、中小企業のコンサルティングを行う。

その一方、アーティストや講演家などのブランディングを全面的に支援する団体を立ち上げ、個人のプロデュース活動に励んでいるという。インターネットを活用したブランディング活動は高く評価さ



られることにとられず、誰かのために尽くそうとする姿勢に心を打たれた。

堺市で生まれ育った、西さんの堺市に対する愛は計り知れない。堺市の魅力について「堺はすべてのモノの始まりであり、歴史が詰まっている。鉄文化などの優れた技術を発信していかなくてはならない。まだまだ伸びしろがある」と語り尽くせない様子だった。そんな西さんは、特に自転車を活用した環境問題解決に力を入れている。自転車と環境問題の関係性については、西さんは学生時代から興味を持っており、98年に環境NGO「自転車きよらばん」全国実行委員長を務めるなどしていた。その経験を生かし、西さんは、堺市を自転車活用で力を入れた環境モデル都市として売り出した。結果は良好で、現在、堺市は環境モデル都市の中でもトップレベルにまで登りつめている。

今後の堺市について西さんは「10年後に住んで良かったと思ってもらえる街にしたい。また、堺市の知名度をより向上させ、発信された都市にする」と今後の展望を強く語った。

現在有名私立高校や国会議員の広報活動の依頼を受けるなど、様々な場で活躍している。

岡村さんは、学問的な知識を学ぶだけで終わらず、実際に活動することに關して、「知識というものは、主体と現象の関係性の中でしか価値を持たない」と熱を込めて話していた。この考え方は、彼

が大切にしている「知行合一の精神」につながっているのではないだろうか。

時代にあったマーケティングを追求し、常に行動に移していく岡村さんの姿は、自由で活力にあふれていた。そのような岡村さんの生き方は、盲目的に就職活動を行う同世代に一石を投じるものであった。

世の中は、人々を分ける領域の集合体で表されることが多いだろう。もちろん私のいる領域もそれなりにあるのだが、私の周りには、私自身の手の届かない領域、または私自身が入りたくも居たくもない領域が多い。そして私のいない領域に直面したとき、彼方と此方の間にある「フィルター」を認識することが多い気がする。私が彼方に対してできることは、「フィルター」越しに覗き見ることくらいなのだ。「フィルター」は、彼方の像も、此方の像も映しながら、物理的にも、私の精神にも、いたるところに存在しては、彼方を覗く私を映し出してしまふ。

文芸部 読み切り小説  
『境界線上の』

呉山澄巴

私は服を着せられたマネキンを見ていた。人工的で整然としたそのマネキンは、お洒落なのであろう服が似合っている。更には言えば、それは私の後ろの街頭の景色とも重ねられ調和している。もっとも、人間の中でこの服が似合う人は限られていると思えるし、私はその服を買いたくもなければ、高すぎて買うお金もないが。

そういえば、子供のころにも同じようにマネキンと商品を見た記憶がある。どこかで見たことのあるような、子供が欲しいと思った商品をと見つめている場面だ。マネキンの着ていた子供用の服一式がこよく見えていたようだが、今やどんな服だったか思い出せない。冬服だったことくらいで、その他はおぼろげだ。そのくせ、初めてそれを見た自分の表情は覚えていた。自然と少し目が見開かれ、口も開き声を漏らして感動している、そんなどこかのアニメにありそうな表情だった。それと比べて今の私は特に衣服にこだわりはなく、そんな私自身は無表情に近い。どこか虚ろに見えなくもない。これは大人に近づいたからだろうか、ありきたりそうなことを思う。

ファミレスであれカフェであれ、私は外に見える席を選びがちだ。景色が良ければそれを楽しみなが、たまに「内」と「外」を重ねてみたりする。大概の場合それらを重ねても、調和しているかと言われるとそうではないと思えるが。人通りの多い道に面していれば、人間観察をしてみる。目に付く人といえは、忙しそうサラリーマン、若いカップル、親子連れ、塾帰りであろう中高生、買い物中の主婦、エトセトラ。そういった人々を見て思うのは「ネガティブなことばかりだ。忙しい人を見ては「ああはなりたくない」と思い、幸せそうなカップルや家族、または賢そうな中高生は羨ましい存在だ。それらを見た時の、溜め息混じりの重く曇った表情がそれを証明している。

# Education Systems

本学の生徒は教学ウェブサービスとLUNAを毎週のように使うことになる。下記の記事をチェックして、スタートダッシュをきろう。

## 教学ウェブ

## Luna

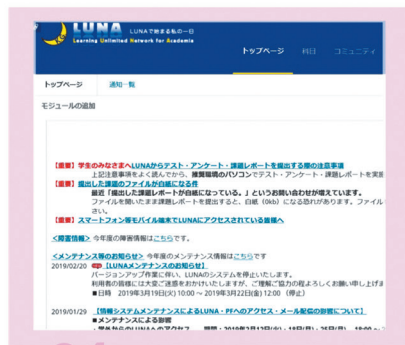
### ① お知らせ一覧



01

教学ウェブにログインすると、最初の画面に出てくるのが「お知らせ」だ。このお知らせでは、休講や補講情報、留学情報その他、就職活動セミナーやイベントの情報が共有される。左図のマーカーをクリックすると全てのお知らせの一覧を閲覧可能である。お知らせ一覧を定期的にチェックを有る益な情報を手に入れよう。

### ① Lunaとは



04

Lunaとは、関西学院大学の学生と教員のための授業支援システム(LMS: Learning Management System)である。主な利用方法は、学生と教員が教材や学習成果物を共有し、掲示板などで自由な意見交換が出来るなどの、教授者・学習者の為のコミュニケーションツールである。授業支援ボックスやWebレスポンス、ポートフォリオなども提供している。次項では、学生がよく利用する2つの項目について紹介する。

### ② シラバス情報



02

シラバスとは、授業の内容や進め方を示す計画書のことである。左図のマーカーをクリックすると、その下図が表示される。入学式で配布される時間割表に記載されている授業コードや授業名称をボックスに入力し検索をかけると各々のシラバスが出てくる。それを用いて、履修することになるので、要チェックだ。

### ② 教材のダウンロード



05

Lunaで学生が一番使う機能は、教材のダウンロードではないだろうか。大学の授業では、授業開始後に資料や教材を配布する場合と事前に学生が教材を印刷して用意するという2つのパターンに分かれている。Lunaを使用するのは後者のパターンである。Lunaを開き、科目メニューで対象の授業を選択し、「教材・課題・テスト」をクリックし、ファイルを選択すれば印刷することが可能である。

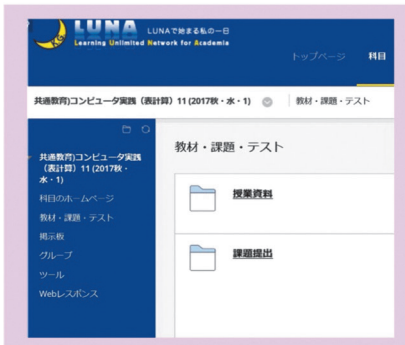
### ③ 学生情報登録申請



03

知らない人は多いのではないだろうか。住所の登録や変更は、教学ウェブサービスから行う。新入生は、特に下宿で住所が変わる場合があるだろう。教務欄の左図のマーカー部分をクリックすると、その下図が表示される。そこからメモ帳のマークをクリックし、学生の住所や電話番号などを変更することができる。変更しておけば、定期券を買う際や書類の郵送先を間違えられることはないだろう。

### ③ レポートの提出



06

Lunaは教材の印刷だけでなく、レポートの提出も可能である。大学の成績評価は、定期試験だけでなく定期レポートの提出が課されている授業もある。提出方法は学部事務室に直接提出またはLunaでオンライン提出の2通りある。Lunaでの提出方法は、先述した「教材・課題・テスト」から課題レポートのリンクをクリックし、ファイルを添付して「送信」ボタンを押して提出する。

## 関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

### ● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・  
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



兵庫県公安委員会指定

# 三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995  
E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード